

西淀川区



大阪市西淀川区役所企画課
平成29年3月発行

西淀川区ってこんなまち！

その昔、大阪は海岸線が東は生駒山麓、西は六甲山麓まで入り込み、現在の西淀川区は海面下にありました。その後、長い年月にわたり淀川などが土砂を運び、河口に『難波八十島』と呼ばれていた多くの島を形づくりしました。

西淀川区の地名に、歌島、竹島、出来島、中島、西島、姫島、百島、御幣島など、島の名が多いのは、その名残といえます。

1925年(大正14年)4月1日、大阪市第2次市域拡張により、西成郡鷺洲町・千船町・稗島町・伝法町・歌島村・福村・川北村が大阪市に編入され、西淀川区が新設発足しました。

その後、昭和16年に区域変更し、昭和18年4月1日の大阪市行政区再編成に伴い現在の区域となりました。



Twitter



Facebook



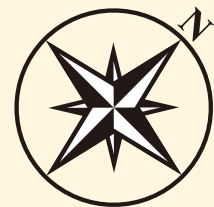
区役所からのお知らせや、イベント情報、地域の情報などを発信しています。

西淀川区の魅力をホームページでも紹介しています。

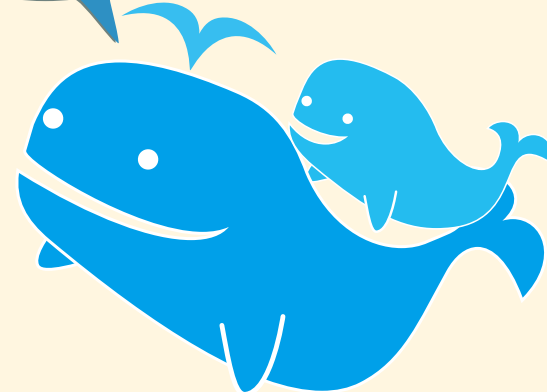


西淀川区の自慢の景観17件「都市景観資源」に登録

大阪市では、西淀川区の都市景観資源の発掘のため「わがまち自慢の景観」を募集し、大阪市都市景観委員会の審議を経て、平成29年3月に17件(①～⑰)を「都市景観資源」に登録しました。



西淀川区のカタチって
ボクたちクジラの親子に
そっくりだよ！



区民がすすめる
ここがイチオシ！

- 梅田方面の眺めは素晴らしい
- 福の堤防付近から見える朝日、夕日がいっぱい
- カニや貝にたくさん触れられる

① 大野川緑陰道路(B-3～C-2)

区内を東西につなぐ全長約3.8kmの散策・サイクリング道路です。



公害対策と環境改善を目的として、旧大野川等を埋め立て整備され、現在では四季折々の景色が楽しめる散歩道として、またジョギングやサイクリング、健康づくりの場として親しまれ、区民の憩いの場となっています。

区民がすすめる
ここがイチオシ！

- 歩いたり、サイクリングしながら自然を感じられる
- 桜やイチョウがきれい
- 緑にあふれている安らぎの場所

② 淀川河川敷(A-3・B-3・C-3)

景色を眺める、自然に触れる、スポーツを楽しむなど多彩な表情をもつ河川敷です。



淀川の河口にあり川幅も広くヨシ原などの自然環境がみられる地域となっています。スポーツや遊びが楽しめる広場などがあり、また、対岸のまち並みや大阪湾の方角には夕日などが見られる眺望のよい場所です。